

史跡と、自動車産業と、活気ある人びとのまち

北野学区

KITANO



北野小学校の児童たち



新世紀岡崎へのメッセージ

未来を託す、未来を担う

未来を担うみなさんから

国語の「町の幸福論」という授業のまとめで、ぼくたちの北野学区の未来が今よりもっとよくなるように、学級で話し合ってみました。

ぼくは「北野廃寺跡」や「小針城跡」などの有名な史跡を大切に受け継ぎ、学区以外の人にも知ってもらえるようにしたいと思います。また、北野には笛や太鼓の演奏を奉納する「小針の祭り」があります。地区ごとに特色のある祭りがあると子どもから大人まで一緒に楽しめるので、地域の祭りを盛り上げていきたいです。



自動車関連の工場が学区面積の4分の1を占めている一方で、多くの歴史遺産もあり、住み良い町です。蛍の再生など、少しずつですが昔の自然豊かな故郷を取り戻す活動も行われています。誇りある学区になるよう皆で頑張しましょう。



老人クラブのみなさん



子どもを大切に育てようと、守る会や見守り隊など、学区をあげての活動が活発です。多くの人が安全安心なまちづくりに参加していることは学区の誇り。今後も継続し、大人になった時は地域活動に進んで参加できる人になって下さいね。

未来を託すみなさんから

北野学区は誕生してまだ30数年ですが、千年以上前から北野廃寺を中心に栄えてきた地域です。本誌の発刊が未来を担う人、託す人にとって、いま一度ふるさとの歴史を見つめ直し、先人が残した文化を守るきっかけになれば、と考えます。

〔作成委員会〕 伊奈 隆/伊奈義文/内田菊雄/辻原春幸/
都築和夫/中村 彰/福應謙一/松下文男/矢田悦生/吉田文雄

〔参考資料〕 北野の里/長瀬今昔

〔表紙写真〕 開校30周年を喜ぶ北野小学校児童と北野廃寺跡

北野学区のなりたち

7世紀後半・飛鳥時代



1 北野廃寺の中心と思われる「礎石」



2 伐採直前の鹿ヶ松。高さ12.9m、幹周3.9m、東西枝先23.4m



3 北野小学校の開校記念式典

- 一八七二年 ■ 明治 5
- 一八七三年 ■ 明治 6
- 一八八〇年 ■ 明治 13
- 一九〇六年 ■ 明治 39
- 一九二九年 ■ 昭和 4
- 一九三三年 ■ 昭和 8
- 一九四一年 ■ 昭和 16
- 一九五三年 ■ 昭和 28
- 一九五五年 ■ 昭和 30
- 一九六二年 ■ 昭和 37
- 一九六五年 ■ 昭和 40
- 一九七〇年 ■ 昭和 45
- 一九七六年 ■ 昭和 51

「北野廃寺」が建立される(↓特集)...

小針教会(のちの圓慶寺)が創建される

森越、舩越に義校ができる(小学校のルーツ)

森越、舩越義校が合併して長瀬学校となる

碧海郡長瀬村、志貴村などが矢作町に合併

北野廃寺跡が国の史跡に指定

長瀬山の耕地整理事業が始まる

岡崎海軍航空隊の飛行場の建設が始まる

鹿ヶ松が松食い虫被害により枯死し伐採される...

碧海郡矢作町が岡崎市に合併

新三菱重工(現三菱自動車工業)岡崎テストコースが完成

県道56号(平針街道)の整備が完了

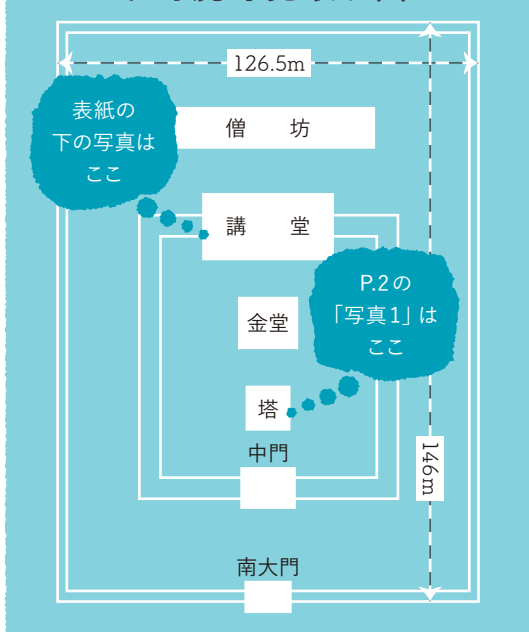
国鉄岡多線が北野榑塚駅まで開通し、貨物列車の運行を開始

国鉄岡多線が新豊田まで延伸し旅客営業を開始

4年とまだ日が浅いですが、年々多くの人が集まるようになり、地域の恒例行事として親しまれています。



～北野廃寺見取り図～



北野廃寺跡から出土した軒丸瓦



北野小学校の校章

地域の皆さんとふれあえる活動に力を入れてきました。

小学校の横にある田んぼでは毎年「米づくり体験」を行っており、老人クラブの皆さんに教えてもらいながら田植えや稲刈りに取り組めます。また「むかしの遊びを学ぶ会」では、あやとり、竹とんぼ、竹馬など今はあまり見かけない昔ながらの遊びをおじいちゃん、おばあちゃんに教わって楽しみます。

子どもたちが安心して学校生活を過ごせるよう、校門に立ったり学校周辺を巡回しています。他団体の模範となる活動により、2013年(平成25)に文部科学大臣より学校安全ボランティア活動奨励賞を受賞しました。



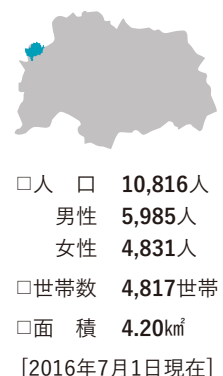
自動車産業のまち

学区への自動車関連工場の進出は、

北野学区の特色

岡崎市の北西部、矢作川右岸に位置する北野学区は、古くから開けた地域でした。低地と台地からなり、農業と居住に都合の良い、生活に便利な土地であったと思われます。大昔の人々が使った矢じり、石斧などが学区内から出土しています。また、稲作技術も伝来し、多くの土器が発掘されています。台地と低地の境には「清水」と呼ばれる湧き水もあり、集落が成立する条件が整っていました。「北野廃寺」がこの地に建立されたのは、こうした豊かな土地が背景にあったと考えられます。戦時中、台地上には岡崎海軍航空隊の飛行場が設置されました。その跡地は戦後、農地、工場用地、住宅地となりました。学区内には運輸関連の事業所が立地し、人口の増加とともに商店も増え、現在のように発展していきました。

DATA



学区3町の伝統行事

小針町 神明社秋祭りの巫女の舞



とき 毎年10月9日

平成5年の祭礼から復活しました。小学3年生から5年生の女子が巫女の衣装を身に着け、鈴や扇を手に舞います。男子も笛や太鼓を担当し、子どもたちみんなで伝統を受け継いでいます。

北野町 秋葉山のお祭り



とき 毎年7月17日

秋葉山は静岡県浜松市の秋葉神社からお迎えした「火の神様」で、火事から町を守ると言われていました。天満社の境内で行われる祭りでは竹を富士山の形に組み、たくさんの提灯で飾り付けます。

橋目中町 地蔵まつり



とき 毎年7月の夏休み直前の日曜

子どもたちを守る地蔵菩薩の縁日です。お堂から橋目中町公民館にお地蔵様を移し、子どもたちがお参りしたあと、賽銭や供物を分けあいます。日頃はお仏供米を町内の人びとが交代で供えています。

北野廃寺跡のあるまち



北野廃寺跡

「北野廃寺」とは？

仏教が日本各地に広まりつつあった7世紀後半に建てられたと言われています。寺院の配置は「四天王寺式」というこの地方では珍しい様式で、境内の広さは東西126・5メートル、南北146メートルもありました。

調査ではたくさん瓦が発掘され、出土した「単弁六葉蓮華紋軒丸瓦」は北野小学校の校章のモチーフにもなりました。現在は塔の礎石が残っており、一帯は公園になっています。



公園整備された北野廃寺跡の全景

北野公園のイベント 月見会

仲秋の満月の日、夕方からたくさん竹の中へろうそくを立てて灯し、公園が幻想的な風情に包まれます。行事を始めたのは201



月明かりの下で風流なひととき

北野小学校



初夏には田植えを体験し、年末に老人クラブの皆さんを招いて餅つきをします



1年生が参加する「むかしの遊びを学ぶ会」。上手にできるかな？

地域の皆さんと ふれあう子どもたち

2014年に創立30周年を迎えた北野小学校では、子どもたちが



北野小学校開校30周年を記念して校章を人文字で作りました！

三菱自動車工業名古屋製作所岡崎工場が完成

矢作北中学校が開校

矢作北小学校から分離し北野小学校が開校
同時に北野学区が誕生…3

国鉄岡多線が愛知環状鉄道になる…4

北野保育園が開園

岡崎大橋が開通…5

小針遺跡の発掘調査が行われる

北野小学校開校10周年記念行事を行う

北野小学校開校20周年記念行事を行う

学校防犯ボランティア「北野小を守る会」が発足

橋目町―小針町間の県道56号バイパスが開通

児童の登下校安全支援ボランティア「北野学区見守り隊」が発足

「北野小を守る会」「北野学区見守り隊」が岡崎市教育文化賞を受賞

「北野小を守る会」が文部科学大臣学校安全ボランティア活動奨励賞を受賞

北野小学校・北野学区創立30周年記念行事を行う…6

北野小学校に防災井戸とビオトープが完成

小学校を支える 地域のサポーター

北野学区 見守り隊



登校、下校時の安全を確保するため、子どもたちを引率する地域のボランティアです。雨の日も風の日も通学団に付き添っています。2010年(平成22)、北野小を守る会とともに岡崎市教育文化賞を受賞しました。

北野小を守る会



1962年(昭和37)の三菱自動車のテストコースの完成に始まります。ついで1965年(昭和40)にマルヤス工業、1966年(昭和41)にフタバ産業と続き、1977年(昭和52)には三菱自動車の車体組立工場が完成しました。また、これら大工場とともに、関連工場や輸送会社の進出も見られるようになりました。

農地の宅地化が進んだのも同じ頃で、社宅やアパート、個人住宅が次々に建てられました。トヨタ系の工場が多い豊田市と安城市に隣接していることもあり、自動車関連産業で働く人たちが学区に多く住むようになりました。

自動車産業の発展とそれに伴う人口増加を受け、1985年(昭和60)に北野学区が誕生したのです。



北野学区の広い面積を占める自動車工場

学区を流れる矢作川



5 岡崎大橋の渡り初め



4 北野柵塚駅での愛知環状鉄道開業式



北野学区

まちものがたりマップ

北野町、橋目中町、小針町からなる北野学区。
岡崎市で二番目に新しい学区ですが、のどかな町を歩いてみれば、
地域の古い歴史を物語る史跡がたくさん見つかりますよ。



A 孝子利右衛門の碑
利右衛門は江戸時代の貧しい農民で、妹とともに母を敬う親孝行な子どもとして評判だった。



B 御所清水
松平元康（のちの徳川家康）が寺部城攻めの帰路、ここの湧水で渴きを癒したと伝わる。また、桶狭間の戦いで岡崎へ逃げる時にも立ち寄ったとされる。

地形メモ

学区の東を流れる矢作川の河畔一帯は沖積低地になっています。かつては米作りの盛んなどころでした。また、学区の北部から西部にかけては「碧海台地」と呼ばれる台地が広がり、古くからの集落が連なっています。

鹿ヶ松の伝説

1560年（永禄3）、桶狭間の合戦に敗れた19歳の松平元康のちの徳川家康は、この地まで逃れてきました。が、前日の雨で増水した矢作川を渡ることができませんでした。その時、長瀬八幡宮の森から鹿が現れ、松の木の陰から川を渡ります。これを見た家臣の石川伯耆守は「八幡大菩薩の化身である。浅瀬を知らず鹿に続け！」と号令をかけ、一行は無事に対岸へと渡り大樹寺に入ることができました。鹿ヶ松跡の記念碑のそばには6代目の松が植樹されています。



どんと焼

門松やしめ飾りを燃やして無病息災を祈願する行事です。近年学区内で火災が発生したのを機に、子どもたちに「火の熱さ・燃える勢い」を体験してもらおうと、消防団OBや長瀬地区の総代会が発起人となりかつての行事が復活しました。毎年1月初旬に行われ、焚火で焼いた芋や餅が参加者にふるまわれます。



長瀬山開発 記念碑

岡崎豊田・安城にまたがる「長瀬山」は、かつて松と雑林が広がり、水利も悪くかんなばつに苦しんでいた荒地でしたが、1933年（昭和8）頃から耕地整理が始まりました。しかし戦時中に、一帯は岡崎海軍航空隊の用地に転用されます。戦後、航空隊が解散されると食料増産のため再び開拓が進められ、昭和27年によりやく完成しました。



松平・徳川家を支えた阿部一族

小針城主の阿部氏はやがて松平家の重臣となり、今川氏の三河攻めの際には松平氏の危機を救う活躍を見せました。江戸時代には大名となり、江戸幕府の要職を担いました。阿部氏四代の墓は、触越町（矢作北学区）の願照寺にあります。



家下川と散歩コース

日名橋上流から北野町まで家下川沿いの約2kmのコース。「家下川を美しくする会」が美化活動に取り組んでいる。



北野小学校の防災井戸

災害で断水したときの水源を確保するため小学校内に設置された。



山田源内の墓

戦国時代に加賀国から橋目に移住し、子孫は代々庄屋を務めた。白山神社は源内が加賀国の白山社を勧請した。



猿投塚古墳

「橋目荒居古墳群」で唯一現存し、碧海台地の東縁に築かれている。「腕かし塚」とも呼ばれる。



小針遺跡

縄文時代～奈良時代の竪穴住居の跡が250以上発掘された。古墳時代の住居遺跡としては矢作川周辺で最も大きい遺跡のひとつ。



小針城（阿部城）跡碑

室町時代に築かれた阿部忠正の居城。小さい丘の上にある小針町の集落一帯が城域だったといわれる。



山下公園

「北野ホテルの会」により公園に隣接する水路にヘイケボタルの幼虫の放流場所が設けられ、シーズンにはホタルが舞う。